



題字 平原田 親

No. 975

2022/6/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都千代田区浅草橋2-2-3
浅草橋555番
電話 03(5839)2149(TEL)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail:okch@jcf-jcfr.jp
URL: www.okch.jp

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL: FAX 0861 258-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福河町東22461-45
TEL: FAX 0861 411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.inaa.net/>
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



日本中国友好協会第71回全国大会 —第10分科会に参加して—

真田紀子

2022年6月5日、日中全国

大会2日目の午前10時から分科会が始まりました。私は振り分けで、第10分科会へ参加しました。

議長は福岡の原田さんでした。参加者の意見をうまく聞き出してくださり、話しやすい雰囲気でした。

最初は自己紹介を兼ねて、今の問題点をあげていきました。私は中国語講座の受講生が増えないことについて、他支部の活動をたずねました。

愛知の鳥富さんから丁寧な説明をいただきました。コロナ前には北京の第二外国語大学へ2〜3週間、語学留学をやっていました。現在は留学生を講師に講座を開いていて、4〜5人で1時間半行い、その後続けてレベルの高い人を集めて6〜7人ぐらいで1時間半やっています。最初の講座の受講生は、1回1500円で月4回。その後の講座は1回1000円で月4回、半年で20〜22回行うそうです。講師には合わせて6000円支払って

いるとのことでした。

別の日に初級クラス3人、超入門クラス2人でやっていますが、今のところ赤字です。募集しても集まらないので、こまっています。

原田さんから、15年ぐらい留学生に講師をお願いしていたが、今は中国から仕事に来ている方の奥さんをお願いしています。月4回で1万円お支払いしている。また、中国語でのニュースを配信してもらっている。そこから少し収入になるようです。

そのほかに、元の留学生が中国事情について話をしてくれる場も作っています。

この情報について、千葉から参加されたYamadaさん(帰国者2世)から、時間をしばらくは講師とオンラインでつながってはどうか。講師に副業をしてもらう、翻訳などをしてもらってはどうかという意見がありました。

☆次号で、続きの中国映画、女性部の活動、地元の中国ゆかりの場所を訪ねるなどを報告します。



大会の感想です。

6月4日の日中友好協会の全国大会に参加しました。

中国百科検定関連の発言がいくつか聞きました。全国各地でさまざまな取り組みが行われているようです。

聞きながら不安に感じたことがあります。7月の中国百科検定は太極拳の指導員講習会と日程がかぶっています。そのことに誰もきちんとした発言をしていなかったようです。

同じ日中友好協会の取り組みです。本来なら同日開催自体が避けなければならぬ事柄です。中心となっている人たちの間で、どんな話し合いが行われたのか、気になるところです。

小川涼子

ウイルスメールが急増

現在使用していない日中岡山のメールに私のメールに(私が利用していない)いろんなカードを名乗る確認メールが急増しています。覚えのないメールは開かず削除しましょう。

中国帰国者問題写真展を観て

益田聖子(芳田日本語教室受講生)

今年も 中国帰国者問題の歴史と現状」の展示を観ました。77年前の戦争、帰国者たちの肉親を分離させて、家があっても帰るのが難しい。中国の養父母、中国の夫や妻が彼らを受け入れて、生きることが出来ました。先輩が語った苦難の経験を思い出すたびに、心が起伏して考えが落ち着かない。彼らが生きている間に故郷に帰って、肉親と再会できることは喜びでした。

50年前の日中国交回復以後、国は当時残された日本人孤児と夫人を探し始めました。紆余曲折を得てついに41年前から苦難を得た残留孤児、残留婦人とその家族は長生き長い帰国の道が続々と踏みました。ところが、41年後の彼らはすでに当時の風貌を失っていました。

車いすに乗っている人も少なくない、杖を突いたり認知症になった人もいます。だから幸せな晩年をどのように過ごすか、皆が注目している問題です。2017年から、5年連続で展示された 深刻な帰国者の介護問題」の内容は毎年新しい希望がありました。今年の展示は再び帰国者介護の希望の光を燃やしま

した。

(一) 残留孤児二世のAさん、帰国者のために数年前から介護の仕事を選んだ、いままでずっと熱心に介護施設に勤めています。自分の選んだ道に沿っていつものように歩き続ける、帰国者介護に光を見つけました。

(二) 残留婦人三世のBさん、2020年10月に訪問介護事業所」を立ち上げました。主に訪問介護でした。その後帰国者のためにもっと役立つように、2021年7月に 小規模多機能ホームいほり」を開設しました。

自宅の一階を改装し訪問のみでなく通所、宿泊もできるようになりました。行動が不便、言葉が通じない、受診困難な高齢者のために後願の憂いを晴らししました。また通所を利用する際には介護生活を豊かにする、餃子パーティー、ゲームなどでみんな喜んでいきます。

サービスが行き届いているうえに共通の言語、習慣などがありますのでみんな我が家に帰ったような感じできます。これは長年みんなが望んできた、独特の風格を持つている 老人の家」だと思います。

中国帰国者介護の希望の道でした。これからも夢と希望を持ってミラニシ、シマ、ミミト、トウゴ。



左から貝吹さん 三宅さん 山根さん 益田さん

ウイルスメール

私、竹内のメールアドレス宛に最近頻繁にメールが送られてきます。

私のメールは主に日中本部からの連絡を受けておりますが、数か月前から日中友好協会、とか矢崎光晴とかの名前で、ファイルを添付したメールが届きます。

本部からの連絡で、複数の方から、以下のような 矢崎光晴」の名前でのウイルスメールが送られてくることのご報告をいただきました。

(ファイルの名前は Report) 「確認をお願いします。」

中国国債投資貿易商談会の岡山マッチング交流会に参加

5月23日に岡山国際交流センターであった、中国国債投資貿易商談会の岡山マッチング交流会に参加し、太極扇の表演をしました。

中国国債投資貿易商談会は毎年9月8日から11日に開催される中国国家レベルのイベントです。

この商談会にむけての交流会では、桃やぶどうの中国への輸出

を考えている人や、医療機器や病院関係の人たち、太極拳と極真空手の武術関連の人があつまっていました。

今年は日中国交正常化50周年の節目で、大きく一歩進みたい気持ちが出ているような有意義な交流会でした。

小川涼子

太極拳の日曜練習

6月5日、毎月第一日曜日の太極拳の日曜練習会がありました。参加者は4人で練功18法の前・後段、真向法、足上げなどした後、剣の刺す動作を、新聞紙を使って練習しました。

練習会の後は、3人で渋川海岸に行つて浜辺を歩き、渋川マリンス水族館でたくさん魚を見て楽しみました。

小川涼子



次回の新聞送付作業は6月29日(水)午前10時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

田井井内井本
池河河竹坪脇